

応募方法のご案内

ニッセイ名作シリーズ 2025 ミュージカル

『ジャック・オー・ランド 〜ユーリと魔物の笛〜』

※当作品はニッセイ名作シリーズ日生劇場公演として2023年より上演しています。

上演時間：約110分(休憩1回含)

公演日程

6月	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
公演			10 30	10 00		休 演	休 演			10 30	10 00		休 演	休 演			10 30	10 00		休 演	休 演	
	13 00	13 00		13 30	13 00			13 00	13 00		13 30	13 00			13 00	13 00		13 30	13 00			13 00
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18				
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
公演	10 00	10 30	10 00		休 演	休 演			10 30	10 00		休 演	休 演		10 00	10 30	10 00	10 30				
	13 30		13 30	13 00			13 00	13 00		13 30	13 00			13 00	13 30		13 30					

※公演日程は鑑賞校の応募状況等により、一部変更となる場合がございます。

鑑賞対象 小学3年生～4年生

鑑賞料 無料

応募方法 以下の「応募先」よりアクセスして、Webフォームにてご応募ください。
後日(※2024年12月下旬を予定)、eメールにて鑑賞日をご連絡いたします。
school@nissaytheatre.or.jpからのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。
希望校が多数の場合は、抽選にて決定いたします。

応募メ切 2024年11月29日(金)

応募先 <https://www.nissaytheatre.or.jp/form/meisaku/>



- 雨天時・猛暑時の昼食スペースの利用については、応募フォームでご確認ください。
- 日生劇場には駐車場・大型バスを駐車できるスペースはございません。
貸切バスでご来場される場合には、バス会社・旅行代理店に駐車場の手配をご依頼ください。



会場 日生劇場：東京都千代田区有楽町1-1-1



千代田線／日比谷線／都営三田線 日比谷駅A13出口(階段)より徒歩1分
有楽町線 有楽町駅より徒歩10分
丸ノ内線 銀座駅C1出口(階段)より徒歩10分



山手線／京浜東北線 有楽町駅日比谷口より徒歩10分

【当鑑賞教室に関するお問合せ先】

公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]Mail: school@nissaytheatre.or.jp

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1
ホームページ <https://www.nissaytheatre.or.jp>

日生劇場がお届けする小学生のための芸術鑑賞教室

ニッセイ 名作シリーズ 2025



ポイント

1

鑑賞料は無料

ポイント

2

鑑賞対象は
小学3年生～4年生

ポイント

3

演目は劇団四季の
ミュージカル
『ジャック・オー・ランド
〜ユーリと魔物の笛〜』

舞台写真：阿部章仁

詳しくは内側を
ご覧ください

【応募メ切】
11月29日(金)

日生劇場
NISSAY THEATRE

主催・企画：公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]
制作・上演：劇団四季
後援：東京都 協賛：日本生命保険相互会社

OPEN

ニッセイ名作シリーズとは…

公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]は、日本生命保険相互会社の協賛により、本格的な舞台芸術に小学生を無料で招待する「ニッセイ名作シリーズ」を展開しています。

これは、1964年から50年間にわたって小学校6年生をミュージカルに招待してきた「ニッセイ名作劇場」を前身とするもので、2014年からは上演ジャンルを物語付きクラシックコンサートや人形劇などに拡大し、「ニッセイ名作シリーズ」として取り組みを発展させてきました。

毎年、日生劇場はもとより全国の劇場で様々なジャンルの公演を行い、事業開始からの累計招待者数は800万人を超えています。

2023年からは新たな取り組みとして、日生劇場公演では小学校 3～ 4年生を対象とした劇団四季制作のミュージカルの上演をスタートしました。全国各地の劇場では、ミュージカル・音楽劇・人形劇・物語付きクラシックコンサートなど、これまでと変わらず多彩なジャンルの公演を行っています。

今後も、これからの社会を支える児童の「豊かな情操」や「多様な価値観」を育むために、全国各地で優れた舞台芸術に触れる機会を提供していきます。

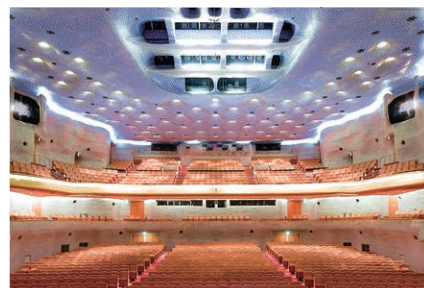


ニッセイ文化振興財団について

当財団は、日生劇場を中心として「すぐれた舞台芸術を提供するとともにその向上をはかり、わが国の芸術文化の振興に寄与する」ことを事業目的として、日本生命保険相互会社の出捐により1973年11月に設立され、2009年11月に公益財団法人へ移行しました。財団設立以来、「届ける(優れた舞台芸術を制作、上演する)」「育む(青少年の豊かな情操を育てる)」「支える(舞台芸術を支える人材を育成する)」という3つの基本理念のもと、活動を行っています。

日生劇場について

1963年10月、日本初の引越し公演となったベルリン・ドイツ・オペラの「フィデリオ」で東京・日比谷に開場。以来、数々のオペラ、演劇、ミュージカル、コンサート等の貸劇場公演に加えて、ニッセイ名作シリーズ、NISSAY OPERA、日生劇場ファミリーフェスティバル等の自主制作公演も毎年開催し、大人から子どもまで幅広いお客様にご来場いただいています。



ニッセイ名作シリーズ 2025 ミュージカル

『ジャック・オー・ランド ～ユーリと魔物の笛～』

※当作品はニッセイ名作シリーズ日生劇場公演として2023年より上演しています。

両親を亡くし一人ぼっちだった人間の男の子ユーリが、
同じように一人ぼっちで生きている魔物コブと出会い、
信じる心が通じ合うことで、世界が大きく動き出し――。
ふたりの友情が生み出す物語を通して、生きていく上で大切なものを伝えます。



♪ 2023公演の
映像公開中！

- ★ ニッセイ名作シリーズのためにつくられた**劇団四季のミュージカル**
- ★ 原作は**映画監督 山崎貴氏とアニメーター 郷津春奈氏が初めて手掛けた絵本**
- ★ 描かれるテーマは「**種族を超えた友情**」や「**信じる心をもつことの大切さ**」

ストーリー

山の上にある魔物の街。
大きなお城に住む魔物の王ジャック・オーは、人間にだまされたせいで“信じる心”を失い、固く心を閉ざし、人々から恐れられていました。一方、人間の男の子ユーリは、ある日、目覚めなくなってしまう女の子エルを助けるため、不思議な力を持つ「魔物の笛」を手に入れようと、魔物の街にしのびこみます。道中、魔物のコブと知り合い、お互いに親しみをを感じる二人。しかし、笛を探していることが、持ち主であるジャック・オーにバレて、捕まってしまう。 「笛を貸す代わりにコブを置いていけ」と言われるユーリ。ユーリを信じ、自ら残ることを選ぶコブ。 「必ず帰る」と約束して城を出たユーリでしたが……。

原作:「ジャック・オー・ランド ユーリと魔物の笛」
(作・山崎 貴、絵・郷津春奈、企画監修・千葉伸大 2017年ポプラ社刊)
制作・上演:劇団四季



舞台写真:阿部章仁



児童&教員の声

最初にジャック・オーが出てきた時は少し怖かったけど、途中で慣れてからは楽しかった。ユーリが魔物の笛を持って帰ってくるのかドキドキした。**演技もすごかったけど歌はもっとすごい**と思った。
(3年男子)

コブがジャック・オーのもとに自ら残ることを選んだ場面が心に残った。信じているからこそ待てるぞというコブの気持ちと、信じられているからこそ困難にも立ち向かえるぞというユーリの気持ちを感じた。そうして生まれた**友情や勇気はとても強い**と思った。
(4年女子)

友情、信じる心、約束を守るなど、大切なメッセージが子どもたちの心に届いたので良かった。**学校では学ぶことのできない貴重な体験だった**。弱い心と戦う場面、正しいことややりたいことの間で葛藤する場面、子どもには身近な内容が目の前で繰り広げられることで、自分事として捉えられると思った。
(教員)

子どもたちが日ごろ触れているメディアを通じた世界とは違う、生の迫力を間近で、体全体で感じられたことがすばらしかった。舞台づくりに関わっているすべての人々の熱い想い、本物に出会えたことが子どもたちの心を揺さぶっていた。**思わず声を出し、リズムをとって手拍子、拍手をしている姿に担任としても感動した**。
(教員)

※児童・教員からいただいた声のなかから当財団で抽出・編集して掲載しています。